

**JR西宮名塩駅前
広場再整備事業**

JR西宮名塩駅前広場に自家用車乗降場を新設するなど再整備し交通の円滑化と安全の向上を図るとして、23年度予算に測量・設計費として450万円計上されました。3月議会の予算特別委員会建設分科会で市が資料提供した、素案(あくまでも素案ですので測定の結果などで変更になる可能性あり)を報告させていただきます。



前回のがんばるレポートで紹介しました生瀬地区自治会連絡協議会からの要望に対する、市からの回答がありましたのでご紹介させていただきます。

生瀬地区自治会連絡協議会 理事長 阪本 和夫様
西宮市長 河野 昌弘

**生瀬地域の公共交通不便地区解消に向けた
来年度予算計上について(回答)**

貴協議会におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本市行政に対し格別のご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、コミュニティバス等の地域公共交通の充実、移動が制約されがちな高齢者の外出を促して自立した生活を後押し、生き甲斐づくりや健康づくりに貢献するだけでなく、日常生活に不可欠なインフラとして、市民に優しいまちづくりにつながるものと考えております。そのため、公共交通不便地域の改善については、「西宮市地域公共交通総合連携計画」の中でも、公共交通の課題に対する基本方針の一つとして掲げており、既存のバス路線による改善が困難な場合には、地域に応じて新たな地域公共交通システムを検討することとしています。

この度、市といたしましては、運行検討の前提条件となる「公共交通不便地域」について他都市の事例等を基に再精査を行い、地域内の65歳以上人口の割合、直近鉄道駅あるいはバス停からの地形の高低差の大きさ、該当地域での具体的な取り組み状況といったこと等を総合的に勘案した結果、先般ご協力いただきましたアンケート調査の完了した塩瀬地区のうち「生瀬地域」を重点検討地区と位置付け、学識経験者等の意見も伺いながら、新たな公共交通の導入可能性について検討を行うこととなり、来年度に「コミュニティ交通検討事業」として予算措置を行いました。

新たな地域公共交通の導入に当たっては、主な課題として、運営資金の調達、地域における合意形成及び交通事業者の理解・協力、それを踏まえた適正な運行計画の作成と関係各署の許認可等が考えられますが、実施につきましては、相当な時間と粘り強い努力が必要となります。また、地域に根付いた息の長い公共交通を実現するには、需要調査や利用促進策等について、地域の皆様が主体となった取り組みも必要不可欠でございます。

今後、市といたしましては、自治会等の地域関係者の皆様と勉強会等を実施するとともに、学識経験者や交通事業者とも意見交換を行いながら、地域住民の皆様と協働して不便地域の改善に向けた取り組みを行ってまいりたいと考えておりますので、何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

生瀬地区におけるコミュニティ交通導入について、23年度からいよいよ始動します。今後も全力でこの問題に取り組みます。

料金受取人払郵便
宝塚支店 承認
2083
差出有効期限
平成24年7月
31日まで

郵便はがき
6 6 9 1 1 9 0

吉岡政和事務所 行

西宮市生瀬町二丁目二十九



吉岡 政和

- 昭和49年6月17日生まれ
- 西宮市立生瀬小学校卒業
- 西宮市立生瀬中学校卒業
- 西宮市立西宮高等学校卒業
- 近畿大学商経学部経営学科卒業
- 平成11年4月より、中山正徳建設大臣(当時)の下で政治学学ぶ
- 平成19年4月 西宮市議会議員選挙において4,041票を獲得し初当選(45名中6位)
- 平成19年西宮市議会 総務常任委員会 副委員長
- 平成22年西宮市議会 建設常任委員会 委員長
- 現在に至る

現在の主な役職【平成23年2月現在】

(議会関連)
建設常任委員会 委員長

(各種団体)
社団法人 西宮青年会議所 常任理事
にしのみや市民祭り協議会 理事
西宮地車連絡協議会 事務局長
生瀬地区青少年愛護協議会 理事
西宮市消防団生瀬分団 団員
生瀬青年団

吉岡政和
よしおか まさかず
がんばる
レポート

I ♥ NISHINOMIYA
Yoshioka Masakazu Ganbaru Report

今期最後の本会議が終わりました。会期中には東北・関東大震災が発生し、議員控室で同僚議員と一緒に津波の様子をライブ中継するテレビを観ておりました。まるで映画の世界のような映像を観ながら絶句しました。16年前の阪神大震災において、生瀬東町の実家が半壊した記憶がよみがえりました。人間の能力では自然災害を防ぐことはできません。自然災害が発生しても被害を最小に防ぐ努力や備えが必要であると常々心がけておりましたが、いざ予測を遥かに上回る今回のような災害が来ると、改めて人間の微力さと僕自身の力なさに歯痒い思いがしてなりません。2年前に建設常任委員会の管外視察で仙台市を訪問した際に水道局の担当者が、「10年以内に三陸沖大地震が発生する可能性が9.9%で、地震が発生してもライフラインが確保出来るように今から備えている」と説明されていたことを思い出しました。西宮市においても防災について、なお一層努力するのを感じました。被災されたすべての方にお見舞いと、亡くなられた方に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

吉岡政和へのご意見・ご質問等何でも結構ですので下記ハガキよりお寄せ下さい。(匿名でも可) 幸ひ

今議会では、4年間ひたむきに取り組んでいた「公共交通不便地区解消」について、新年度50万円の予算がつかしました。これは、「生瀬地区」において学識経験者の意見を聞きながら、コミュニティ交通導入にむけての調査・研究を行います。西宮市のコミュニティ交通施策において歴史的1歩を踏み出しました。いよいよ動き出します。今後この問題については引き続き全力で取り組み、いつの日か西宮市に公共交通不便地区がなくなるまで努力いたします。さて、平成23年度の予算案が可決されました。今回のがんばるレポートでは予算概要などを中心に報告させていただきます。

平成23年度予算案可決

**あなたの収めた税金10,000円は
こう使われます。**

よっちゃんのわかりやす〜い解説

平成23年度予算(一般会計)1740億7067万4千円 前年度比8.1%増が3月議会で可決されました。

※ % は対前年伸率をあらわしています

議会費 60円	0.6%	商工費 110円	1.1%
総務費 920円	9.2%	土木費 1,130円	11.3%
民生費 3,820円	38.2%	消防費 320円	3.2%
衛生費 1,220円	12.2%	教育費 1,000円	10%
労働費 20円	0.2%	公債費 1,390円	13.9%
農林水産費 10円	0.1%		

23年度末の市債残高見込みは1705億円です。ピーク時の平成10年度末に比べて1428億円減少しております。

※がんばるレポートは郵便法で定められた厚さの範囲内で一番コストのかからない用紙を使用しております。

吉岡政和にもの申す!!

ご意見欄 どうぞしお寄せください



お名前 TEL

ご住所

お問い合わせ先 吉岡政和(活動事務所)

〒669-1102 西宮市生瀬町1丁目12-9 電話 0797-75-3397 FAX 0797-75-5230
メールアドレス dm-10.masakazu@h6.dion.ne.jp ホームページ http://www.yoshiokanavi.jp/

東北地方太平洋沖地震における西宮市の支援状況



津波で大きな被害を受けた宮城県南三陸町で懸命に救助活動をする西宮市消防職ら(市消防局提供写真)

水道局(厚生労働省より要請)

活動地域:宮城県柴田町・岩手県大槌町
 3月28日現在までの延べ人数及び延べ使用車両:96名 車両43台
 3月30日現在 4名が被災地にて活動中



西宮市の給水車(市水道局提供写真)

保健所(厚生労働省より要請)

活動地域:仙台市若林区
 3月28日までの延べ人数及び延べ使用車両:62名 車両13台
 3月30日現在 保健師2名・事務員2名が被災地にて活動中



若林区保健福祉センターで保健師等がミーティングを行っているところ(市保健所提供写真)

中央病院(郡山市より要請)

活動地域:郡山市
 3月28日までの延べ人数及び延べ使用車両:75名
 (内医師25名看護師25名事務職25名)車両24台
 3月30日現在 医師1名・看護師1名・事務職1名が被災地にて活動中



郡山市内の病院にて診療にあたる西宮市立中央病院の医師・看護師など

平成23年3月11日14:46に発生したマグニチュード9.0の史上最大規模の地震は大津波を発生させ、発生後3週間を経てもなお被害は拡大しております。発生後、西宮市においても支援対策本部を立ち上げ、職員の派遣と救援物資を搬送するなどして対応しております。現在の支援状況と活動を報告いたします。

人員派遣

消防局(消防庁より要請)

活動地域:宮城県南三陸町・宮城県亶理郡山元町ほか
 3月28日現在までの延べ人数及び延べ使用車両:493名 車両94台
 3月30日現在 4隊13名が被災地にて活動中



料金受取人私郵便
 宝塚支店
 承認
 2082
 差出有効期限
 平成24年7月
 31日まで

郵便はがき

6 6 9 1 1 9 0

吉岡政和事務所
 行

西宮市生瀬町二丁目十二十九

